

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 214

2010年

5～6月号

行 事 案 内

5月手賀沼探鳥会とカウント

5月の定例探鳥会は Enjoy 手賀沼！ 第21回バードウィーク手賀沼探鳥会（5月9日）に代えます。詳細はP2をご覧ください。

6月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月13日（日） 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 夏鳥の季節です。葦原ではオオヨシキリが大きな声で囀っています。また、水田ではチュウサギ、アマサギも見られます。遠くカッコウ、ホトトギスの声も聞こえてくるかもしれません。じっくり観察しましょう。
解 散 正午
担 当 北原、桑森、松田、佐々木、小林（寿）、野口（紀）

朝探鳥、午後の探鳥地は下見で決定します。軽井沢ではオオルリ、コルリ、キビタキなどの夏鳥、菅平ではアオジなど高原の鳥の囀り、各種キツキ、カラ類など、多種多様な鳥が期待できます。昨年は49種の鳥が観察されています。

持 物 観察用具、雨具、防寒具
交 通 新成シティ観光中型バス
宿 舎 菅平山の家（民間の保養所）予定
須坂市大字仁礼字峰の原3153 96
：0268-74-1820
（ペンションに変わることあり。）
費 用 15,000円～19,000円程度
（2日間の昼食は各自負担）
定 員 20名（定員になり次第締め切りますので、早めに申し込んで下さい。）
申 込 桑森亮まで（旅行傷害保険に年齢が必要となりますので、申し込みの際に年齢の連絡をお願いします。）
Tel/Fax：04-7182-3149

担 当 諏訪、桑森

軽井沢・菅平探鳥会

期 日 5月15日（土）16日（日）
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 この探鳥会は昨年初めて実施しましたが、好評でしたので今年も引き続き実施します。初日は軽井沢野鳥の森、二日目は菅平湿原遊歩道を早

笹川・印旛沼探鳥会

期 日 6月27日（日） 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 笹川周辺では葦原の至る所から飛び出して囀るオオセッカ、またギョギョシと鳴くオオヨシキリの声に

まじって、ちょっと高い声音で気持ちよく囀るコジュリン等が見られます。そして印旛沼では葦原を飛び交う多くのヨシゴイとサンカノゴイも期待できます。

持 物 観察用具、雨具、弁当・飲物(途中購入可)

交 通 自家用車分乗です。一人 1,500 円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提供可能な方はその旨をご連絡下さい。

申 込 北原建郎まで
Tel : 04 - 7183 - 4683

担 当 北原、小玉

5 月幹事会案内

日 時 5 月 9 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 30
場 所 こもれび 会議室 1
議 題 22 年度下期行事予定
会報 215 号の記載記事について
報告事項
その他(議題のある場合は事務局まで連絡ください。)

【Enjoy 手賀沼！ 第 21 回バードウィーク手賀沼探鳥会】

5 月 10 日 ~ 16 日はバードウィークです。恒例の手賀沼探鳥会を 9 日に実施します。我孫子市鳥の博物館と当会が共催するイベント(山階鳥類研究所は後援) で、手賀沼親水広場で開催される「Enjoy 手賀沼！」(Enjoy 手賀沼！実行委員会主催) に併せた行事です。探鳥会には 60 名以上の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥会の実施面を担当しますので多数会員のお手伝いをお願いします。

期 日 平成 22 年 5 月 9 日 (日) 雨天中止

集 合 手賀沼親水広場 芝生 午前 8 時 30 分

担 当 全幹事

案 内 6 班編成で、順次出発、ふれあい道路を東進し、高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻るコースとします。班毎に鳥合わせして解散です。原則 12 時終了の予定です。5 月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に替えます。

雨天の場合は、我孫子市鳥の博物館見学会(入場無料) を行います。館内の案内、説明等を会員が手伝います。確認は 7 時 30 分以降「鳥博」(04-7185-2212) まで。

行 事 報 告

2 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2010.2.14 9 : 00 ~ 12 : 00
晴れ 気温 5

< 認めた鳥 > カイツブリ、ミミカイツブリ、

カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハ

ヤブサ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、アリスイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 50 種 (番外)カワラバト

<探鳥班>西昭子、田中悟、榎本右、木村喜好、木村せつ子、渡辺成、諏訪哲夫、栗田励、名雪陽子、長田律子、肥後邦彦、田中恒雄、野口隆也、小坂忠久、小川廣子、佐々木隆、間野吉幸、高梨昌久、小玉文夫、桑森亮、松本勝英、松下勝子、松本葉子、川村美恵子、六角昭男、常盤孝義、金子幸子、武藤康之、村瀬和則、類地佑子、小野寺邦彦、植田啓介、野口紀子、西嶋昭生、河内悠太郎、石渡成紀、岩田孝之、渡辺政一、木村稔、染谷迪夫、田中功、北原建郎 (担当) 松田幸保 参加者 43 名

<カウント班>木村稔、染谷迪夫、田中功、北原建郎

調査日時 2010.2.16 9:00~12:05
曇り 気温 4

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	12	8	20
ハシロカイツブリ	1	0	1
カムリカイツブリ	3	4	7
カウ	38	50	88
ゴイサギ	39	0	39
ダイサギ	0	1	1
コサギ	4	5	9
アサギ	10	5	15
コバクチョウ	26	5	31
マガモ	14	8	22
カルガモ	121	64	185
コガモ	310	10	320
カヨシガモ	10	2	12
ヒドリガモ	2	0	2
オカガモ	2	16	18
ホシハジロ	0	1	1
ミコアイサ	2	9	11
バン	5	0	5

オオバン	46	20	66
ユリカモ	2	14	16
セグロカモ	1	3	4
合計	648	225	873

<ピオトープ班>猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

調査日時 2010.2.14 9:30~11:45
晴 微風 気温 9~13

全般:久々に晴れたせいか多くの野鳥を観察した。沼の水位は高く、静かな水面。
水田:殆どの乾田が田起こし。ぬれた土から湯気が立ち昇る。

ピオトープ:湿地の植物群再生、カヤネズミの調査、沈水植物再生事業実施中。

通行人:好天気に誘われウォーキング、ランニング、サイクリングの人が多い。

3月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2010.3.14 9:00~12:00
晴 中風 気温 10

<認めた鳥>カイツブリ、カムリカイツブリ、カウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コバクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、ミコアイサ、ミサゴ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 39 種

番外 コジュケイ、カワラバト

<探鳥班>諏訪哲夫、肥後邦彦、榎本右、栗田励、浅井久、松田幸保、高橋長久、中野久夫、六角昭男、桑森亮、染谷良子、武藤康之、松下勝子、池田日出男、田丸喜昭、田中恒雄、古出洋子、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、宮下三禮、天野正臣、天野睦子、佐藤弘美、類地佑子、西昭子、野口紀子、畠中暁美、上野竹子、大久保陸夫、間野吉幸、澤田冴子、野口隆也、小林寿美子、小川廣子、川越久枝、金子幸子、小林博之、小林美智子、西巻実、鈴木静治、猪爪敏夫、越智葵、河内悠太郎、大矢篤、井上正 (担当) 佐々木隆

参加者 48 名

< カウント班 > 木村稔、田中功、北原建郎、
染谷迪夫

調査日時 2010.03.14 9:00~12:00

晴れ 微風 気温 10

調査種	上沼	下沼	合計
カツブリ	14	6	20
カムリカツブリ	11	13	24
カワ	22	33	55
ダイキ	2	6	8
コサキ	1	5	6
アサキ	4	2	6
コバクチョウ	22	9	31
マガモ	1	0	1
カガモ	5	17	22
コガモ	6	1	7
カヨシガモ	4	0	4
オガガモ	0	11	11
ホバジロ	0	2	2
キンクロバジロ	2	0	2
ミアサ	0	7	7
バン	1	0	1
オバン	26	32	58
ユリカモ	10	73	83
セグロカモ	0	2	2
合計	131	219	350

< ビオトープ班 > 猪爪敏夫、川田光男、谷山
晴男、鈴木静治、間野吉幸

調査日時 2010.3.5 9:30~11:30

快晴、微風、17~20

全般：雨後の晴天のためか野鳥の種類多く、
ホオアカ、コジュケイも観察された。
風殆どないため沼・池共に波無く、水
面静か。

水田：殆どの乾田は田起こし済み。

ビオトープ：草刈りし全般的に整備されている。
湿地植物群再生、カヤネズミ調査、沈
水植物再生事業実施中。体験水田も田
起こし済み。

通行人：晴天であるが平日のため通行人やや
少なく、散歩、自転車等の人約 40 人。

井頭公園探鳥会

2月7日

カワセミとキセキレイの ツーショットに感動

松下勝子

んまあ~ なんと寒く、風をつめたいこと!!
そんな朝に、野鳥を見に行こうと好き者が集
まって、井頭公園へ。その公園がどこに有る
かも知らず。

バスに乗り込む。友人も知らないらしく、
『井頭公園で、どこに有るの』と尋ねられた
私は、知ったかぶって「茨城あたりかなあ~」
と言いつつも、自信が無いので、猪爪さん
にお尋ねすると、栃木県真岡市とのこと、県立
だとも。

お弁当におやつ、双眼鏡をリュックサック
に。どんな小鳥さんに合えるかなと、ルン
ルン と胸を膨らませて。途中、コンビニで
トイレ休憩。左党さんは缶やビンを持ってバ
スへ。乗る時には、早くもベニマシコが、1
羽 2 羽。

車窓から見える筑波山、雪を頂いた日光連
山。山に精通された田中さんが、ご指名でガ
イドさんに。しかし、これがベニマシコから
アカコッコにヘンション!? そしてガイド
無しのバスは一路、井頭へ。会報でバードソ
ンと言う文字を初めて目にし、辞書で調べま
した。バードウォッチングとマラソンの合体語
と解かりました。

公園のレンジャーさんの説明は、少したよ
りなげでした。守る会の方々のほうが、もっ
とくわしく知っておられました。池は護岸工
事で、水は真ん中に少ししかなく、水鳥たち
は、『こんなはずじゃなかった』と、どこか
の池や沼に避難したらしく、『ゼロ羽って訳
にも行かないから、君らはここで我慢してく
れたまえ』と、先輩にいわれたかどうか知り
ませんが、申し訳程度の鳥達が浮いていまし
た。

さあ！いよいよバードソン、A 班 B 班に
分かれて。

私は A 班、林の中は風が強いけど、結構
な賑わい振りです。ルリビタキは、私はメス
のみでしたが、オスを見られた方も。何より

は、放水口近くのカワセミとキセキレイのツーショットには、ブルブルッと身震いする程の感動。ああ～カメラがあればなあ～。林の中のジョウビタキの美しさ。またバスの中にはないベニマシコの華麗さ。おもしろかったのは、ソウシチョウ。ドングリを割って投げると、数羽が競うように藪から飛び出してくる様は、とうてい野鳥とも思えません！

帰りのバスでトリ合わせ4種の差でA班のVサイン。車窓の日差しの強さに閉口し、ビニールシートで色々工夫をしつつ無事に1日が過ごせました。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、トビ、オオタカ、オオバン、タゲリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計40種 番外ソウシチョウ、シナガチョウ、アヒル、カワラバト、ガチョウ

<参加者> 川越久枝、金子幸子、諏訪哲夫、間野吉幸、田中恒雄、松下勝子、大久保陸夫、田中功、北原建郎、松本勝英、松本葉子、武藤康之、谷山晴男、山住良子、染谷迪夫、宮下三禮、桑森亮、野口隆也、小林秀美、和田朋之、鈴木静治、中野久夫、古出洋子、天野正臣、天野睦子、浅野利行（担当幹事）猪爪敏夫、小林寿美子 参加者28名

清里・野辺山探鳥会 2月20日、21日

白銀の野辺山 ハギマシコを堪能

野口洋子

「雪上のベニマシコはとってもきれいだよ」夫の一言が真冬の清里・野辺山探鳥会参加の決め手となった。ビギナーの私はベニマシコを見たことがないが、雪の白と鳥の赤色の美しいコントラストが頭に浮かんだ。ベニマ

シコという名も何か可愛い鳥の姿を連想させる。申込みから待ち遠しい一月半であった。2月20日バスは会員19名を乗せて我孫子を8時に出発、関越が事故渋滞のため中央高速にルート変更するも、車は快調に進んでいく。晴天のためか皆の気分は上々のようで、飲み物を楽しむ男性陣、女性陣もこぞとばかりにオシャベリに花を咲かせる。丁々発止のダジャレ合戦がピークに達した頃歓声があがった。窓の外を見ると眼前に雪を頂いた富士山が突然姿を現した。真冬の富士は凜として、神々しいばかりに美しい。山梨側から見る姿もなかなか趣がある。以後、宿に着くまでの間、丹沢山塊・八ヶ岳連峰・鳳凰三山・南アルプス連峰等が雪化粧をして、パノラマで最大級の歓迎をしてくれた。その中でも特に富士は、終始位置を変えながら要所現れに現れては道案内をする先達職の様であった。清里は意外にも風は冷たいが雪はなく拍子抜けしてしまった。はたして白と赤のコントラストは見られるのかしら……。ペンションは、さすが餌付けしているだけあって、たくさんの種類の鳥が集まってくる。ニューナイスズメやシジュウカラのネクタイははっきりと覚えたし、ジョウビタキのオレンジ色のきれいなこと。ニューナイスズメのニューの意味も教えて頂いた。それからアオゲラが幹に張り付いてじっと動かず、えさ台に近づかない様子に、警戒心の強さを感じた。

ややあって野辺山へ行くと、そこは白銀の世界であった。清里より3度程気温は下がるとのこと。寒い中来たかいもあり、そこでは40羽ほどのハギマシコを見ることができた。スコープの中の姿は正に萩の花模様、オスは赤が強く出て特に綺麗。晴れていたため特に色が鮮やかに見えた。陽の光は最強の演出家でもあるようだ。十分ハギマシコを堪能した後は、フクロウを探しに場所移動したが、結局見ることはできなかった。宿のオーナーのお話によるとディスプレイ行動の時期に多く見られるとのこと、1月位までだとのことであった。帰り道、天女の湯に立ち寄り、冷えきった身体を温めた。温泉はなんとも心地良い癒しとなった。明けて6時、再度野辺山へ。日の出前の薄暗い中、富士山がシルエットで現れたのは面白かった。零下10度

の中、ハギマシコを観察するが曇天のため、昨日のように綺麗な色が見られない。ここでは少しずつ明けていく山際の色の変化が楽しめた。

朝食後 9 時に宿を出発、一路佐久千曲川の東電調整池へ。ミコアイサ、カワアイサ、キンクロハジロ等の水鳥達がのんびりと寛いでいるようである。ここは鳥達にも人間にも別天地のように感じた。実のなる木も多く、浅瀬もあり、崖地にブッシュも揃っている。何より浅間山・北アルプス等が遠望できる場所で、春には桜が綺麗であろう。ヨシガモ、オカヨシガモ、アカゲラのそれぞれの美しい色合いを堪能することができ、嬉しかった。

今回の旅は、まずお天気に恵まれ、山々の美しい景色を見ることができ、そして、幾つかの鳥は確実に覚えられたこと。私の中では「星三つ」が付いた楽しい旅となった。雪の上のベニマシコは後の楽しみにとっておきたい。

【幹事報告】

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、トビ、イヌワシ、チョウゲ

ンボウ、オオバン、ウミネコ、キジバト、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カヤクグリ、ジョウビタキ、ツグミ、エナガ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、ハギマシコ、ベニマシコ、イカル、シメ、ニューナイスズメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 49 種

< 参加者 > 山本貞江、野口隆也、野口洋子、山住良子、間野吉幸、諏訪哲夫、中野久夫、大久保陸夫、松田幸保、浅野利幸、松下勝子、松本勝英、池田日出夫、金子幸子、染谷迪夫、村上稔、古賀嗣郎、(担当幹事) 田中功、鈴木静治 計 19 名

北本自然観察公園探鳥会(3月21日)は予想を超える「春の嵐」で、当日の朝に中止と決定させていただきました。(担当)野口隆也、松田幸保

鳥 だ よ り

- 01.23 [北新田] 材カ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 01.24 [柏の葉公園] ウグ(1) 13:25、笹
鳴きをしながら移動 飯泉仁・久美子
- 01.24 [古利根] ノリ(1) 飛翔 諏訪哲夫
- 01.24 [古利根] フウゲ(1) 飛翔
諏訪哲夫
- 01.24 [古利根] ヲシ(1) 飛翔 諏訪哲夫
- 01.24 [曙橋] 材カ(2) 休息 中西榮子
- 01.27 [曙橋] 材カ(5) 11:58 ~ 13:00、晴
れ 飯泉仁・久美子
- 01.27 [曙橋] ヒ(1) 11:58 ~ 13:00、晴れ
飯泉仁・久美子
- 01.28 [北新田] フウゲ(1) 電柱から
飛去 中野久夫

- 01.29 [浅間前] フウ(1) 田を低空飛行
鈴木静治
- 01.29 [布佐平和台] 材カ(1) 池の端の桐
の木にとまる 鈴木静治
- 01.29 [北新田] ノリ(1) 樹上 中野久夫
- 01.29 [北新田] ヲシ(1) 4号排水路で
中野久夫
- 01.30 [江蔵地] ベニマシコ(1) 草藪より木の
枝に飛び移る 鈴木静治
- 01.30 [江蔵地] ノリ(1) 利根川上空を飛
ぶ 鈴木静治
- 01.31 [下沼田] ノリ(1) 小川の岸より
叢に入る 鈴木静治
- 01.31 [浅間前] フウゲ(1) 電柱上に
とまり餌を探す 鈴木静治
- 01.31 [浅間前] ヒ(1) 上空を飛ぶ

鈴木静治
01.31 [浅間前] ノリ(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
01.31 [布佐平和台] ヒ(1) 上空を鳴き
ながら輪を描いて飛ぶ 鈴木静治
02.01 [布施] ヘコマシコ(2) 休息・採餌
中西榮子
02.04 [曙橋] フウ(1) 飛翔 中西榮子
02.04 [曙橋] ノリ(1) 休息 中西榮子
02.04 [曙橋] フウ(1) 休息
中西榮子
02.05 [北新田] ハブサ(1) 電柱上
中野久夫
02.07 [酒井根6丁目] トラツグミ(1) 9:45、
農家の納屋の堆肥置き場にて 飯泉仁
02.11 [光ヶ丘広池学園] トラツグミ(1) 9:56、
体と足を上下動させて土の中の虫をおび
き出していた 飯泉仁
02.11 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
02.12 [下沼田] ノリ(1) 田の上を飛ぶ
鈴木静治
02.14 [岡発戸新田] ミコ(1) 沼上空高く
飛ぶ 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、
鈴木静治
02.16 [手賀沼] ミコ(2) 上沼1、下沼1
染谷迪夫、木村稔、田中功、北原建
郎
02.16 [手賀沼] ヒ(1) 上沼1 染谷迪
夫、木村稔、田中功、北原建郎
02.17 [北新田] イソギ(2) 2号排水路で
中野久夫
02.21 [大井新田先手賀沼] フウ(1)
10:35、晴れ、葦原の上を滑空していた。
腰の白い個体 飯泉仁・久美子
02.21 [箕輪新田先手賀沼] ヘコマシコ
(1)11:00、鳴きながら移動
飯泉仁・久美子
02.25 [布佐平和台] フウ(1) 住宅
上空を飛ぶ 鈴木静治
03.01 [久寺家] カサギ(1) 金谷水門で
中野久夫
03.04 [千間橋] ノリ(1) 高圧送電塔の中
位にとまる 鈴木静治
03.04 [浅間前] 木カ(1) 枯れた葦にとま
る 鈴木静治
03.05 [水道橋] ミマガラス(2) 乾田で採餌
鈴木静治

03.05 [水道橋] コマルガラス(1) 乾田で採餌
鈴木静治
03.05 [中沼田] フウ(1) 電柱上の
留まる 鈴木静治
03.05 [高野山新田] 木カ(1) 田の畔道で
採餌 間野吉幸、猪爪敏夫、川田光男、
谷山晴男、鈴木静治
03.11 [北新田] コドリ(2) 耕田の水たま
り 中野久夫
03.20 [つくしヶ丘] ミ(1) 9:33、上空約
100メートル上空でカラスに追われなが
ら旋回 飯泉仁
03.20 [水道橋] ヒ(1) 上空を飛ぶ
鈴木静治

今回寄せられた鳥の全種名

<山野の鳥>

アオジ、アカハラ、ウグイス、エナガ、オ
オジュリン、オオタカ、オナガ、カシラダ
カ、カワセミ、カワラヒワ、キジ、キジバ
ト、キセキレイ、コクマルガラス、コゲラ、
シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロ
ハラ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、
タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツ
グミ、ツバメ、ツミ、トビ、トラツグミ、
ノスリ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、
ハシブトガラス、ハヤブサ、ヒバリ、ヒヨ
ドリ、ピンズイ、ベニマシコ、ホオアカ、
ホオジロ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクド
リ、メジロ、モズ、ルリビタキ 計47種
<水辺の鳥>

アオサギ、イソシギ、オオバン、オカヨシ
ガモ、オナガガモ、カイツブリ、カルガモ、
カワウ、カンムリカイツブリ、キンクロハ
ジロ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、コサ
ギ、コチドリ、コブハクチョウ、セグロカ
モメ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、ハジロ
カイツブリ、バン、ヒドリガモ、ホシハジ
ロ、マガモ、ミコアイサ、ユリカモメ
計27種 合計74種
<番外種>

アイガモ、アヒル、カワラバト、シナガチ
ョウ、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	17
飯泉仁	141
飯泉仁・久美子	234

首藤佑吉	1	平岡考	2
猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男・		間野吉幸・猪爪敏夫・川田光男・	
鈴木静治	1	谷山晴男・鈴木静治	1
鈴木静治	47	総計	593
諏訪哲夫	31		(諏訪哲夫)
染谷迪夫・木村稔・田中功・北原建郎	71		
中西榮子	12		
中野久夫	51		

会 員 便 り (ab - yacho より)

【北新田】

- ・コガモは青山水門近くの2号排水路にまとまっていた。
- ・中央学院大学のグラウンドの芝生に約50羽のツグミが集まり採餌していました。(中野久夫 2010.02.17)

北新田の2号排水路、3月5日から貯水のためせき止められ水深が深くなりました。ウグイスの初音、3月3日に聞かれました。

- ・コチドリの初認は3月3日でした。
- ・3月14日の朝、ツバメが1羽4号排水路上を飛んでいました。(中野久夫 2010.03.15)

昨日北新田(2号排水路)にシマアジ雄1、雌2がいました。(北原建郎 2010.03.31)

北原さんの鳥便りにある北新田のシマアジ♂1・♀2、今朝10時頃も2号排水路にいました。非常に警戒心が強く、7・80mぐらいまで近づくとすぐ飛び立ち、100m位離れたところに移動したりしていましたが、10時過ぎ、草摘みに来た人が近づいた時、堤防を越え利根川のほうに飛び去ってしまいました。いた場所は、大利根橋近くの青山水門の上流1番目の橋と2番目の橋の中間の2号排水路でした。また戻ってきてくれるといいですが。(中野久夫 2010.03.31)

北原さんと、中野さんの情報を見て、今朝、シマアジを求めて北新田2号水路に行ってきた。中野さんの情報どおり、青山水門から上流の橋の前後で3羽観察できました。コガモと一緒にいるのですが、人が通ると飛び立ち移動します。車の中からだとまだ警戒心が薄いようでした。時間は9時半から10時過ぎの間で、最後は利根川上流方向に飛んでいきました。

その後、手賀沼遊歩道へコイカルとカメラマンの群れの見物に行ってきました。コイカルは午前中10時半頃から10分ほど、その後は隠れ、午後になり桜の樹に姿を現し、60人ほどのカメラマンとウォッチャーを楽しませてくれました。(桑森亮 2010.04.03)

シマアジ夫妻というのも珍しいです。今年の我孫子野鳥を守る会の写真集2010には是非応募してください。近年は北新田にですすね。(西巻実 2010.04.03)

北新田2号排水路にハイイロヒレアシシギ冬羽がいました。シマアジは、飛んでしまって残念ながら観察出来ませんでした。オオジュリン夏羽が1羽いました。

(中西榮子 2010.04.12)

【ヤツガシラ】

富津にヤツガシラが出ているというので仲間と一昨日行ってきました。ヤツガシラは以前西表で出会って以来の対面でした。フェンスに囲まれた野球場の芝生の中で餌を盛んに食べ、時々周囲の林に止まってバーダーの群れを見渡していました。昨年も六義園に出たようですから時々この辺にも現れるようですね。(2010.03.03 諏訪哲夫)

【コイカル】

このところ鳥の博物館近くの手賀沼遊歩道にコイカルが滞在しています。最近はこのコイカル君が有名になっていてカメラマンが詰め掛けています。今日も大勢の人がカメラを構えて写真を撮っていました。鳥博の近くの遊歩道なのですぐわかります。(諏訪哲夫 2010.03.27)

カメラの皆さんにコイカルブームが来ているとのこと、以前(ン十年も前)は水元公園がコイカルの見られるところとして有名でしたが、手賀沼ももうコイカルが居着いてどのくらいになるでしょうね。我孫子野鳥を守る会のDBを見てもらえばわかるのでしょうか。

皆さんが送ってくださるコイカルの画像に非常に高い確率でイラガのマユが写っているのにびっくりしました。鳥はよく見ているつもりですが、昆虫は「見れども見えず」でそもそもこんなに手賀沼の木立にイラガのマユがあるなんてしりませんでした。しかもそれをコイカルがどうも大好きらしいというのも驚きました。だいたいイラガのマユというのは他の鳥は食べないのでしょうか?コイカルは1日にどのくらいのイラガのマユを食べているのでしょうか。どなたか1日でも半日でもコイカルについて回って、イラガのマユをいくつ食べるか、その間に別のエサをどれだけ食べるか、数えてご覧になりませんか?(平岡考 2010.03.29)

手賀沼遊歩道で観察しておりますコイカルですが、イラガのマユを本当に良く食べております。最初コイカルを見たときには、桜の花芽を食べているのかと思いましたので、驚きました。イラガのマユは、コゲラも大好きなようで、何度か見かけました。先日は、シジウカラが、やはり同じようにイラガのマユを食べているのを見かけました。他の鳥は、どうなのか興味深いところです。(中西榮子 2010.03.29)

市民活動フェア

「市民活動フェア in あびこ 2009」が3月6日、7日にアピスタ他2ヶ所で開催されました。当会は「手賀沼公園探鳥」と「パネル展示」で参加しました。探鳥は6日13:00~15:00実施予定でしたが、降雨のため13:30頃中止しました。パネル展示は会の活動紹介を2日間実施し、約400名近くの方が会場の工芸工作室を訪れました。当会会員の参加者は延べ23名でした。

平成22年度会費納入のお願い

本年度の会費納入時期がきました。郵便局の払込用紙を同封しましたので早期にお振込ください。尚、既にお支払いの方はこの用紙を破棄してください。

年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円 家族会員無料)

3月幹事会報告

日 時 3月14日(日) 13:30~17:00

場 所 アビスタ 2F 第4学習室

議 題

1. 総会議案の検討、決定
 - ・21年度活動報告及び決算案の検討、決定
 - ・22年度事業計画及び予算案の検討、決定
2. 会報214号の記載記事について
会報214号に記載する記事を検討した。(行事予定、実施行事の感想文、報告など)
3. 報告事項
 - Enjoy手賀沼!えの参加
 - ・例年通り「バードウィーク手賀沼探鳥会」に鳥博と共催で参加。内容の基本パターンを従来通り。
 - 市民手賀沼探鳥会
 - ・1/31に開催され、一般市民23名、当会会員他15名、計38名参加。番外を含め48種の鳥を観察。
 - 市民活動フェア in あびこ2010
 - ・3/6,7の2日間に亘り環境分科会でパネル展示し会の活動を紹介。3/6には手賀沼定点探鳥会を実施したが、降雨により30分で中止。
 - 紙芝居の制作と上演について美手連へ報告(報告資料回覧)。これにより美手連から4万円の補助を受ける予定。
 - 22年度のJBFは10月第4週(10/23,24)に開催。23年度も10月開催の見通し。この1週間前には、生物多様性に関するCOP10が名古屋で開催されていることもあり、手賀沼流域フォーラムが同じ時期に開催される予定。
 - ビオトープ調査について、3月は前倒しで実施し、21年度の報告書が完成。近々、県環境財団に提出し、受託費12.6万円を受領予定。

新入会員紹介

小林忠久(我孫子市)

高梨昌久(東京都中央区)

ほーほーどり No.214 (2010年5~6月号)

発 行 2010年5月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel:04 7182 3972

U R L <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)